

# 2024年3月期第3四半期 決算報告会

 丸一鋼管株式会社

取締役副社長執行役員 森田 渉

2024年2月7日

令和6年1月1日に石川県能登半島で発生した地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様ならびにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

## ➤ 当社グループの地震による影響について

当社グループの従業員および取引先の方々において、重大な人的被害はありません。また、建物や設備についても大きな被害はなく、事業活動の継続に支障をきたす事態は発生しておりません。

当社グループは、被災者の方々や被災地への救援活動を支援する目的で、石川県へ1,200万円の寄付を行うことを決定しております(2024年1月15日付)。

- I. 2024年3月期 第3四半期 決算概要
- II. 単体および主要連結子会社の状況
- III. 足元の事業環境認識
- IV. 2024年3月期 業績見通しと配当予想の上方修正

# I. 2024年3月期 第3四半期 決算概要

## ■ 決算ポイント

- 第3四半期は予想を上回る実績
- 通期計画を上方修正
- 配当金予想を2円引上げ

## 連結業績

【単位：百万円】

連結	2023年3月期実績				2024年3月期実績				前年 増減額	前年比 (%)	進捗率 (%)
	上期	3Q	3Q 累計	通期	上期	3Q	3Q 累計	通期 計画	3Q 累計	3Q 累計	通期 計画
売上高	138,399	69,536	207,935	273,416	135,173	68,420	203,593	270,000	-4,342	-2.1%	75.4%
営業利益	18,412	5,757	24,169	30,019	19,268	8,431	27,699	33,500	3,530	14.6%	82.7%
経常利益	20,874	7,400	28,274	34,416	21,049	9,588	30,637	35,800	2,363	8.4%	85.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,946	5,457	19,403	24,164	14,098	6,354	20,452	24,400	1,049	5.4%	83.8%

\* 通期計画は2023年11月8日付の修正計画

## 連結業績総括

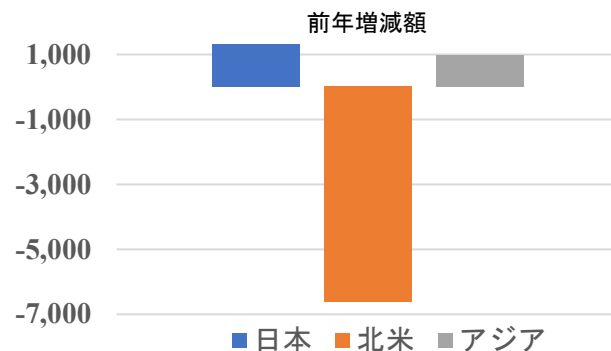
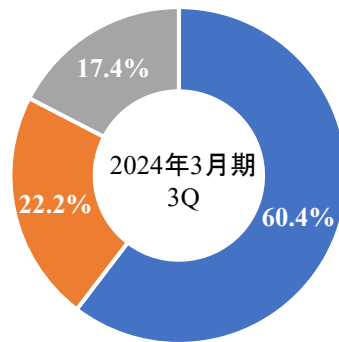
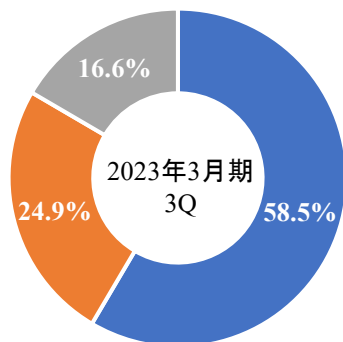
- 第3四半期間は、国内が予想を上回る。海外は予想どおりの着地
- 累計の販売数量は、日本(単体)が前年比3.9%減、海外が前年比9.5%増となったことにより、全体では1.6%微増
- 売上高は、日本とアジアで1.5%増収になったが、北米が販売単価の下落による大幅な12.8%減収となり、連結では2.1%減収
- 利益面は、日本が9.3%減益になったが、北米・アジアが前年の落ち込みから回復し2.9倍増益となり、連結の営業利益は14.6%増益  
営業外損益は、受取配当金や持分法による投資利益の減少から悪化したが、  
経常利益は8.4%増益

## セグメント別売上高実績

【単位：百万円】

売上高	2023年3月期実績				2024年3月期実績				前年増減額	前年比(%)	進捗率(%)
	上期	3Q	3Q累計	通期	上期	3Q	3Q累計	通期計画	3Q累計	3Q累計	通期計画
日本	78,523	43,083	121,606	163,244	81,697	41,219	122,916	164,864	1,310	1.1%	74.6%
北米	36,143	15,709	51,852	65,051	30,827	14,409	45,236	56,774	-6,616	-12.8%	79.7%
アジア	23,733	10,744	34,477	45,119	22,648	12,793	35,441	48,362	964	2.8%	73.3%
合計	138,399	69,536	207,935	273,416	135,173	68,420	203,593	270,000	-4,342	-2.1%	75.4%

\* 通期計画は2023年11月8日付の修正計画



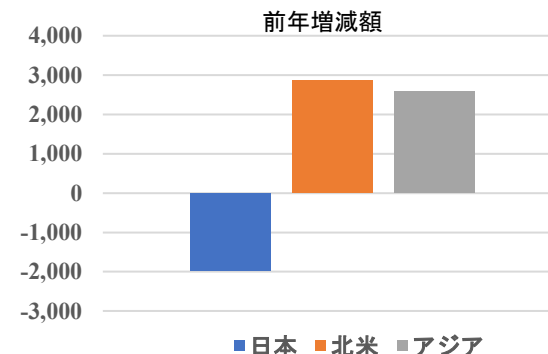
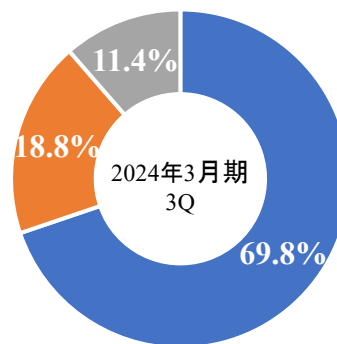
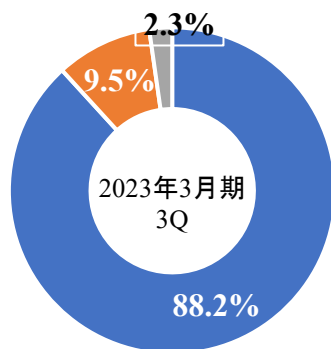


## セグメント別営業利益実績

【単位：百万円】

営業利益	2023年3月期実績				2024年3月期実績				前年増減額	前年比(%)	進捗率(%)
	上期	3Q	3Q累計	通期	上期	3Q	3Q累計	通期計画	3Q累計	3Q累計	通期計画
日本	13,739	7,343	21,082	27,488	12,754	6,362	19,116	24,076	-1,966	-9.3%	79.4%
北米	2,839	-562	2,277	1,178	4,595	557	5,152	4,928	2,875	126.2%	104.5%
アジア	1,621	-1,081	540	984	1,694	1,428	3,122	4,256	2,582	477.5%	73.4%
調整額	210	58	268	368	224	84	308	240	—	—	—
合計	18,412	5,757	24,169	30,019	19,268	8,431	27,699	33,500	3,530	14.6%	82.7%

\* 通期計画は2023年11月8日付の修正計画



## セグメント別概況

## 日本

- 単体において、自動車生産が回復傾向にあるものの、当社主力の中小建築物の需要が盛り上がりず、販売数量は前年比3.9%減
- パイプ販売単価は、一部値下げ対応せざる得ない中、価格とスプレッド幅の維持に努めた
- 売上高は、単体が数量減から減収、丸ステンレス鋼管もステンレス管・BA管ともに数量減からの減収。東洋特殊鋼業の新規連結子会社化の効果により全体では1.1%増収
- 営業利益は、数量減による固定費負担増およびコストアップで9.3%減益

## セグメント別概況

## 北米

- 米国のホットコイル(HRC)価格が、年初763\$/T(トン)でスタートしたが、4月には1,300\$台/Tまで上昇し受注も堅調に推移。その後、5月から下がり始め9月末には700\$台/Tに下がった
- 販売数量は、北米4社が前年比6.5%増。MMX(メキシコ)は、半導体不足解消による日系自動車メーカーの増産により前年比23.4%増
- 売上高は、販売数量が増加したものの、販売単価の下落により12.8%減収
- 営業利益は、1~2Qのホットコイル価格の上昇に連動した製品販売価格の値上げが、コイル消費単価の上昇に先行し、結果スプレッドの改善により2.3倍増益

## セグメント別概況

## アジア

- SUNSCO社(ベトナム)は、ベトナム市況に勢いが無く国内需要も回復の兆しが無い状況。ハノイで日系二輪メーカーの販売台数減少で苦戦しているが、ホーチミンでの輸出の増加で販売数量は前年比11.8%増
- KUMA社(インド)は、乗用車販売が好調で販売数量は前年比7.7%増
- アジアセグメントの売上高は、SUNSCOハノイ以外の各社が増収を確保したことで2.8%増収
- 営業利益は、SUNSCO社の回復とMPST社(フィリピン)の貢献により全体で5.8倍増益

## II. 単体および主要連結子会社の状況

## 売上高・段階利益の推移

【単位：億円】

個別段階利益	売上高				営業利益				経常利益				当期純利益			
	上期	3Q	3Q累計	前年比	上期	3Q	3Q累計	前年比	上期	3Q	3Q累計	前年比	上期	3Q	3Q累計	前年比
丸一鋼管	620.2	319.4	939.6	-0.7%	96.4	48.8	145.2	-5.1%	135.6	60.2	195.8	0.5%	103.7	40.1	143.8	2.7%
丸一ステンレス	146.6	65.5	212.1	-5.4%	20.4	9.0	29.5	-28.7%	20.5	8.9	29.4	-28.8%	13.5	6.1	19.6	-28.5%
その他国内子会社*1	75.2	41.0	116.2	79.8%	10.0	6.1	16.1	-0.2%	14.8	6.4	21.2	-0.2%	10.4	4.5	14.9	-0.2%
LEAVIT(北米)	133.5	61.3	194.9	-16.3%	20.1	-0.3	19.8	42.1%	21.0	0.3	21.3	40.8%	13.2	-0.2	13.0	-4.4%
MNT(北米)	22.9	11.7	34.7	-12.8%	2.7	-0.3	2.4	黒字転換	2.7	-0.3	2.4	黒字転換	2.7	-0.3	2.4	黒字転換
MAC(北米)	77.7	37.6	115.4	-16.5%	13.6	4.1	17.7	50.8%	14.6	4.8	19.4	53.1%	10.5	3.3	13.8	53.1%
MOST(北米)	47.0	17.8	64.8	-9.5%	6.0	-0.3	5.7	黒字転換	6.1	-0.2	5.9	黒字転換	6.1	-0.2	5.9	黒字転換
MMX(メキシコ)	22.3	13.5	35.8	18.6%	4.4	3.2	7.6	11.6%	4.8	3.0	7.9	14.6%	3.9	2.4	6.3	37.8%
SUNSCO(ベトナム)*2	165.9	95.8	261.7	-1.1%	10.5	10.5	21.0	黒字転換	10.4	9.9	20.3	2764.8%	9.7	9.9	19.6	3170.0%
KUMA(インド)	60.1	30.7	90.8	9.9%	5.4	2.6	8.1	-8.5%	5.7	2.9	8.6	12.4%	4.3	2.1	6.4	11.7%
その他海外子会社*3	6.1	4.2	10.3	74.3%	0.8	0.8	1.6	1862.5%	1.7	0.8	2.5	黒字転換	1.4	0.8	2.2	黒字転換
持分法適用関連会社									2.0	3.6	5.6		2.0	3.6	5.6	
連結調整	-26.1	-14.4	-40.5		1.9	0.4	2.3		-29.9	-4.5	-34.4		-40.9	-8.7	-49.6	
合計	1,351.7	684.2	2,035.9	-2.1%	192.6	84.3	276.9	14.6%	210.4	95.9	306.3	8.4%	140.9	63.6	204.5	5.4%

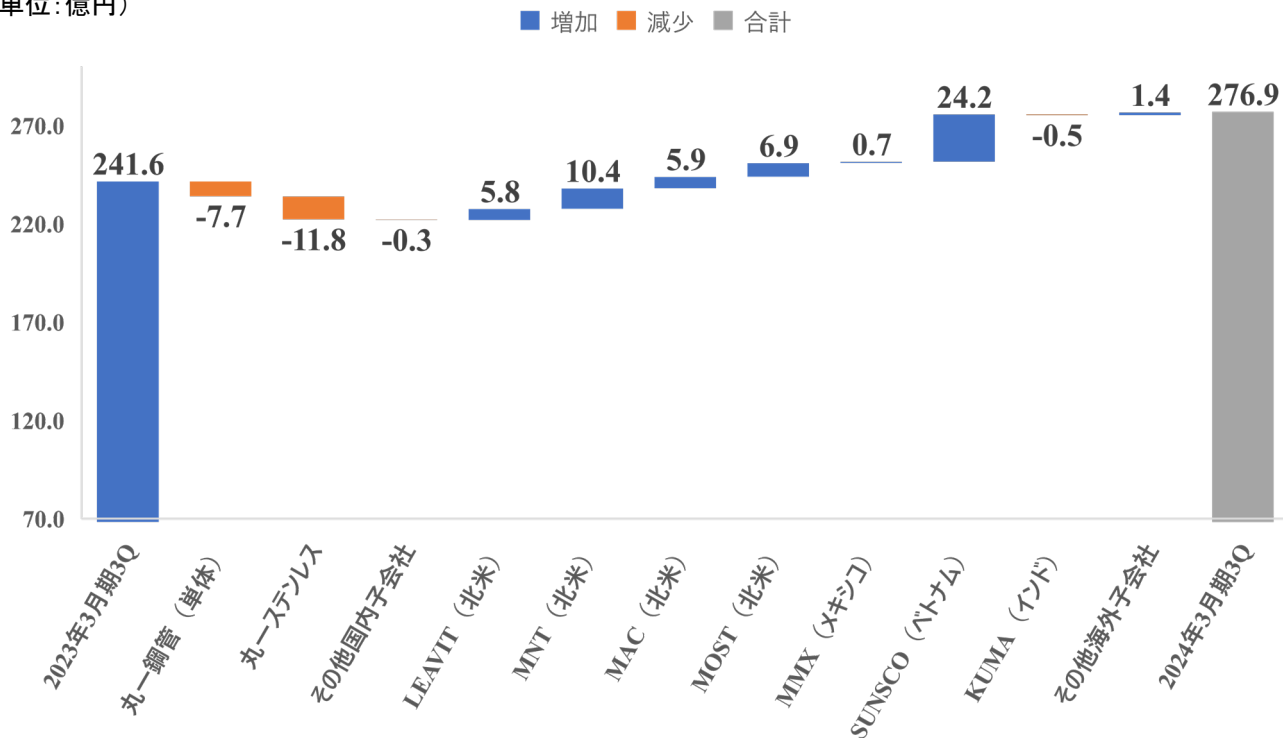
\*1 2024年3月期第1四半期より、その他国内子会社に「東洋特殊鋼業株式会社」を加えております。

\*2 SUNSCO(ベトナム)は、ホーチミンとハノイの合算となっております。

\*3 その他海外子会社は、MPST(フィリピン)およびMST-X(テキサス)の実績です。

## 連結営業利益の増減要因(23年3月期3Q実績→24年3月期3Q実績)

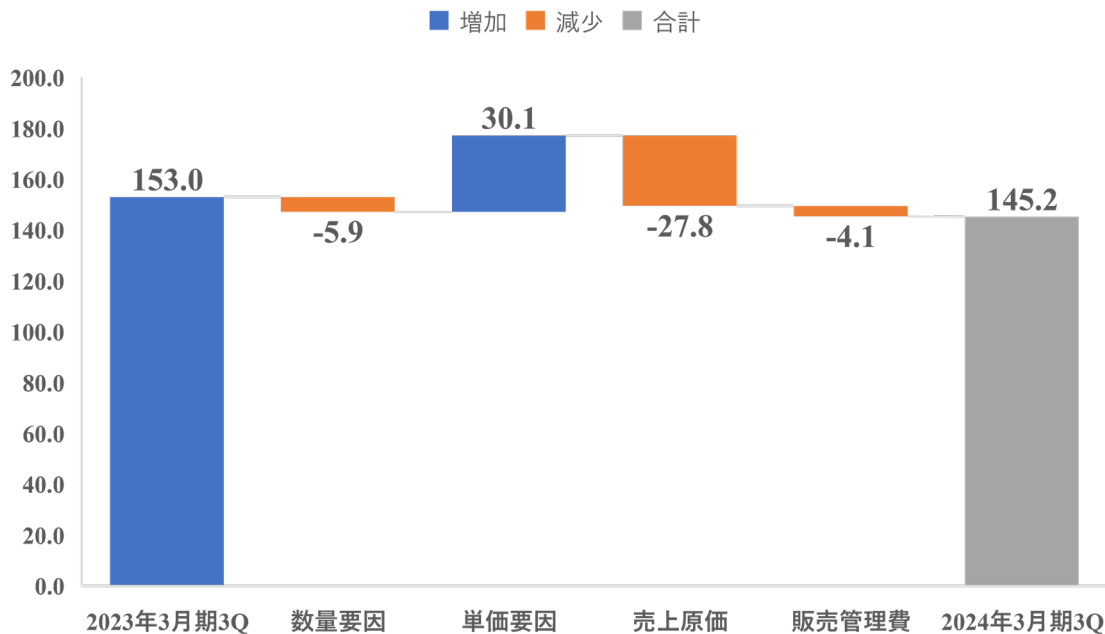
(単位: 億円)



➤ 丸一鋼管と丸一ステンレス鋼管が減益であったが、海外各社が増益に貢献

## 単体営業利益の増減要因(23年3月期3Q実績→24年3月期3Q実績)

(単位:億円)



➤ 総販売数量は、517千トンとなり前年比3.9%減少



## 単体及び海外の販売数量の推移

販売数量 単位:千トン		四半期ベース							24/3期 3Q累計	前年比 (%)
		23/3期				24/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
丸一鋼管	建築構造用	115.0	103.9	102.5	97.9	104.5	99.1	99.3	302.9	-5.8%
	機械構造用	32.9	34.6	36.7	35.8	34.1	34.7	38.3	107.1	2.8%
	その他	40.5	33.9	38.7	37.3	33.2	36.5	38.0	107.7	-4.7%
	計	188.4	172.4	177.9	171.0	171.8	170.4	175.6	517.8	-3.9%
海外	北米(4社)	60.6	68.2	55.3	54.5	70.1	65.2	60.7	196.0	6.5%
	MMX(メキシコ)	2.8	2.9	2.8	2.7	3.4	3.4	3.8	10.6	23.4%
	SUNSCO(ベトナム)	54.6	56.2	46.4	49.9	55.9	55.8	64.2	175.9	11.8%
	KUMA(インド)	7.6	8.6	7.6	7.6	8.2	9.0	8.4	25.6	7.7%
	他(MPST)	0.7	0.7	1.0	1.4	1.2	1.1	1.1	3.9	58.7%
	計	126.3	136.6	113.1	116.1	138.8	134.5	138.7	412.0	9.5%
丸一鋼管+海外 合計		314.7	309.0	291.0	287.1	310.6	304.9	314.3	929.8	1.6%

- 単体の販売数量は、引き続き中小建築案件の低迷により、建築構造用が5.8%減。自動車生産の回復から、機械構造用が2.8%増。その他は、農芸用・配管用・輸出などとなるが、配管用は堅調に推移したが4.7%減。海外各社は全て増加したことで、全体では1.6%の微増となった

## 丸一鋼販株式会社

【単位：百万円】

業績 推移	2023年2月期実績						2024年2月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	11,505	11,339	12,433	35,277	11,672	46,949	12,022	11,581	11,915	35,518	0.7%	47,034	75.5%
営業利益	211	383	435	1,029	224	1,253	339	263	250	852	-17.2%	1,107	77.0%

\* 通期計画は2023年11月8日付の修正計画

- 販売数量は、前年比2.2%減となったが、販売単価の上昇により売上高は前年比0.7%上回る
- 営業利益は、前年比177百万円(▲17.2%)となっているが、在庫評価損益が前年度+359百万円に対して本年度▲66百万円と425百万円の差額によるもの
- 引き続き切断加工設備を保有する12営業所でのカットコラムの拡販に注力し、カットコラムの販売数量は前年比3.8%増加
- 丸一鋼管グループは、2025年大阪・関西万博のパビリオンの建築構造に参加



## 丸一ステンレス鋼管株式会社

【単位：百万円】

業績 推移	2023年3月期実績						2024年3月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	6,108	7,775	8,526	22,409	8,123	30,532	7,857	6,804	6,551	21,212	-5.3%	29,078	72.9%
営業利益	1,124	1,113	1,891	4,128	1,278	5,406	1,195	852	899	2,946	-28.6%	3,750	78.6%

\* 通期計画は2023年11月8日付の修正計画

- 軟調に推移していた半導体市況は、パワーチップ半導体を中心に伸びが見られ、ロジックやメモリ市況も回復し始める
- 一方、MST-Xは取引先Valex社の在庫調整のため2024年10月以降の生産開始と約6ヵ月遅らせることとした
- ステンレス管は、プラント需要が低迷し、流通各社が在庫調整に入る。海外市場は、金利高とNi(ニッケル)相場の下落に伴い、更なる在庫圧縮が継続



Maruichi Stainless Tube Texas Corporation  
(MST-X)

## LEAVITT・MNT(北米)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2022年12月期実績						2023年12月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	73,607	79,020	56,784	209,413	47,097	256,508	57,132	56,682	49,068	162,880	-22.2%	203,409	80.1%
営業利益	3,022	7,607	-2,404	8,228	-6,119	2,107	6,211	10,974	-794	16,391	99.2%	12,660	129.5%

- 需要は堅調で将来の見通しも決して悲観的ではない状況がマーケットの大半
- 鋼板メーカー各社は、下がっている市況を何とか改善すべく、年末の定期修理や供給調整をしながら値上げの時期をうかがう
- 鋼管メーカー各社も、鋼板市況と自社の在庫量を見ながら価格改善のチャンス进行うかがう

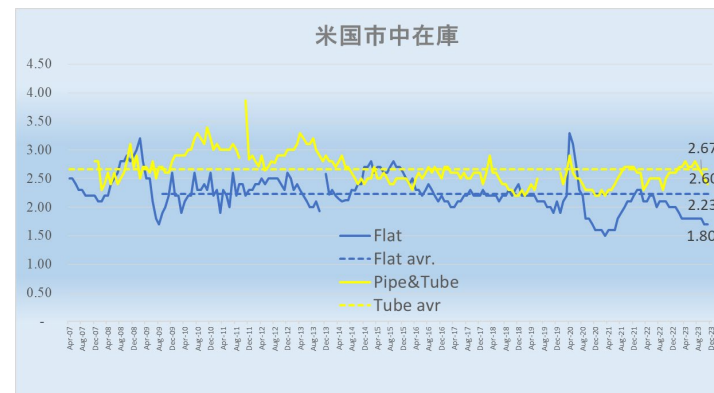


## MAC・MOST(北米)

(単位: US \$ thousand)

	業績 推移	2022年12月期実績					2023年12月期							
		1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
MAC	売上高	33,443	43,170	30,822	107,435	23,765	131,200	26,624	30,702	25,665	82,991	-22.8%	104,158	79.7%
	営業利益	1,710	5,809	1,787	9,306	-1,901	7,405	2,760	7,360	2,707	12,827	37.8%	12,988	98.8%
MOST	売上高	19,801	21,382	12,698	53,881	9,709	63,590	16,097	17,737	11,604	45,438	-15.7%	57,853	78.5%
	営業利益	-145	706	-586	-25	-4,898	-4,923	951	3,522	-348	4,125	—	3,936	104.8%

- 4月中旬にピークとなったCRU価格は3Qに入っても値下げが継続  
インフレ懸念による市場の警戒感がある。  
サービスセンター(問屋)を中心に買控えムードとなり販売も  
10~20%減少
- 単価減により、両社とも売上高は減少
- 一方市況は比較的冷静で調整を経ながらも中長期的な需要には大きな懸念点があるわけでは無い。UAWのスト影響等も一時的であるとの見方が支配的で、自動車販売等は好調でもあることから、同セクターでは比較的楽観的なコメントが多い



## MMX(メキシコ)

(単位: US \$ thousand)

業績推移	2022年12月期実績						2023年12月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	8,132	7,954	7,504	23,590	6,617	30,207	8,213	8,376	9,344	25,933	9.9%	33,301	77.9%
営業利益	2,413	1,980	1,382	5,775	1,056	6,831	1,740	1,882	2,419	6,041	4.6%	7,436	81.2%

- メキシコOEM各社の販売数量は前年比13%増。特に日系OEMの回復により、MMXの販売数量も前年比23.4%増。コロナ前の水準に回復
- 一方で、米国UAW等の組合交渉が高水準で妥結する事により、メキシコ国内への波及はある程度避けられない状況
- メキシコ投資は、引き続きニアショアリング(生産拠点を最終消費地に近い所に移転させる戦略)の影響で2023年に過去最高規模に到達予定。一方で電力インフラ、労働力確保の問題もあり、今後の更なる投資には課題が多い



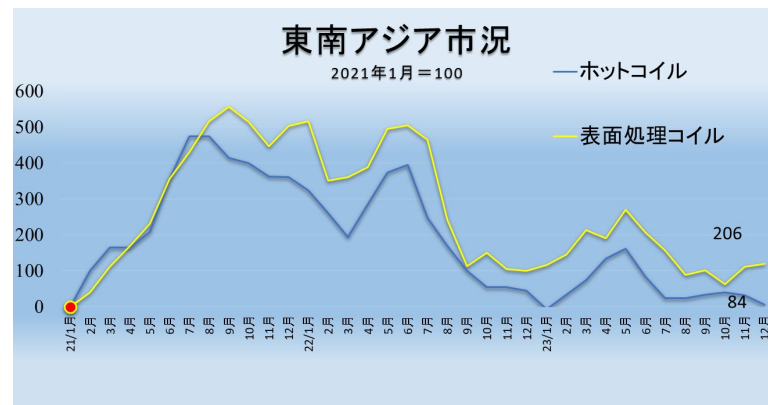
メキシコにおける第2工場  
ヌエボ・レオン州モンテレイ  
鋼管製造工場建設決定  
2025年稼働予定

## SUNSCO(ベトナム)

(単位: US \$ thousand)

業績推移	2022年12月期実績						2023年12月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	73,504	75,974	57,006	206,484	54,657	261,141	60,306	62,579	66,447	189,332	-8.3%	259,037	73.1%
営業利益	3,564	122	-13,473	-9,787	-1,345	-11,132	5,822	1,950	7,411	15,183	—	19,828	76.6%

- 市況は7月から反転したものの、中国の需要が回復せず中国からの輸入材が足を引っ張り、9月で失速し値下げに転じた
- 一方、7-9月の販売数量は米国・メキシコ向けの受注が好調で前年比38%増
- 国内の建設需要は引き続き低迷。暫くは輸出中心になるも、2024年3月には借入金の完済を終え、全社一丸となって課題解決に取組

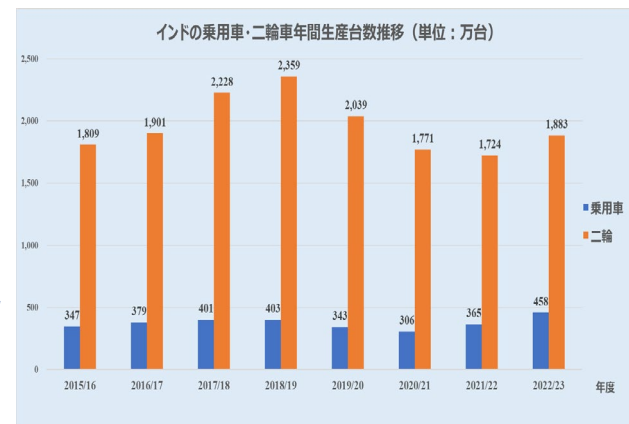


## KUMA(インド)

(単位: US \$ thousand)

業績 推移	2023年3月期実績						2024年3月期						
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年比 (%)	通期計画	進捗率 (%)
売上高	19,797	22,357	19,351	61,505	20,436	81,941	20,787	22,550	21,108	64,445	4.8%	80,448	80.1%
営業利益	1,908	2,415	1,893	6,216	2,006	8,222	1,904	2,045	1,826	5,745	-7.6%	8,476	67.8%

- インド四輪生産台数は小型車の不調を人気のSUVが補う状況が続き、4～12月も前年比5.8%増と好調を維持。  
中大型商用車も前年比8.5%増
- 二輪生産台数はコロナ前の水準には戻らないものの、前年比5.7%増と回復の兆し
- EV化は二輪が先行して進んでいるが、政府補助金減の影響で前年度ほどの成長は無い
- 2023年12月にマネサール工場の造管ミルエントリー設備(2機)の更新より生産効率と能力が向上





# III. 足元の事業環境認識

国内 需要	鋼板類	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内鋼板需要は自動車需要の正常化から自動車鋼板関連は堅調</li> <li>●一方建築向け需要は引続き鋼材価格や関連コスト上昇を嫌う市場が、工事の人材不足もあり、プロジェクトの実行を慎重に見極めている状況</li> <li>●韓国・台湾ミルは中国・東南アジア市況が軟調で勢いが無い中、円安とフレート高の影響で対日向けオファー価格は値上げを希望</li> </ul>
	鋼管類	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車向けは平常レベルに回復</li> <li>●国内鋼管類は、中径杭関連は堅調、農業・酪農関連需要の落ち込みは継続</li> <li>●中小建築案件の低調は、鋼管市場に影響が大きく、一部メーカーの数量確保の為の価格対応が常態化</li> </ul>

海外 需要	北米	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インフレ懸念あるも引続き鋼材需要は堅調</li> <li>●年初から4月迄は上げ相場であったがその後調整局面となった。パニック的な値下げでは無いダラダラとした下げ</li> <li>●市場の反応は比較的冷静。使用単価の上昇局面での販売単価下落傾向であるためスプレッドの維持に全力を尽くす</li> </ul>
	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中国経済は長引く不動産不況から未だ抜け出せない状況が続く</li> <li>●日系自動車メーカーの販売苦戦が続く。BYDなど中国系EVの販売が市場を席捲</li> <li>●中国高炉メーカーに大きなスタンス変更は無いが、国内販売が不振のため輸出にかなりシフト。一方で輸出先である東南アジア市況も低調であることから、市場の雰囲気は悪い</li> </ul>
	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●7-9月の二輪車販売は前年比20%減の61.0万台（マイナス幅も大）。1-9月の累計販売台数も183.4万台で前年比16%減。二輪販売が低調</li> <li>●不動産市場は政府のテコ入れ策（政策金利引き下げ等）が徐々に効いてきており、四半期ごとに改善が進んでいるが、建設用鋼材の需要は依然として低迷。本格的な回復はまだ先となる</li> </ul>

# IV. 2024年3月期 業績見通しと 配当予想の上方修正

## 決算見直しの修正

- 第3四半期進捗は、予想を上回る水準で推移したことから、通期予想の修正を実施  
 <2023年11月8日付 前回通期予想からの修正>

【単位：百万円】

連結	2023年3月期				2024年3月期				前年比 増減額	前年 同期比 (%)	前回 予想	前回 予想比 (%)
	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 計画	通期 修正計画				
売上高	138,399	69,536	65,481	273,416	135,173	68,420	67,207	270,800	-2,616	-1.0%	270,000	0.3%
営業利益	18,412	5,757	5,850	30,019	19,268	8,431	6,601	34,300	4,281	14.3%	33,500	2.4%
経常利益	20,874	7,400	6,142	34,416	21,049	9,588	6,263	36,900	2,484	7.2%	35,800	3.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	13,946	5,457	4,761	24,164	14,098	6,354	4,348	24,800	636	2.6%	24,400	1.6%

ROE予想：7.56%

<参考> 第6次(2022/3～2024/3) 中期経営計画当初目標値：売上高2,000億円・営業利益260億円・ROE 6.5%

## セグメント別売上高・営業利益予想

【単位：百万円】

売上高	2023年3月期				2024年3月期				前年比 増減額	前年 同期比 (%)	前回 予想	前回 予想比 (%)
	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 計画	通期 修正計画				
日本	78,523	43,083	41,638	163,244	81,697	41,219	40,085	163,001	-243	-0.1%	164,864	-1.1%
北米	36,143	15,709	13,199	65,051	30,827	14,409	12,574	57,810	-7,241	-11.1%	56,774	1.8%
アジア	23,733	10,744	10,642	45,119	22,648	12,793	14,548	49,989	4,870	10.8%	48,362	3.4%
合計	138,399	69,536	65,481	273,416	135,173	68,420	67,207	270,800	-2,616	-1.0%	270,000	0.3%

営業利益	2023年3月期				2024年3月期				前年比 増減額	前年 同期比 (%)	前回 予想	前回 予想比 (%)
	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 計画	通期 修正計画				
日本	13,739	7,343	6,406	27,488	12,754	6,362	5,104	24,220	-3,268	-11.9%	24,076	0.6%
北米	2,839	-562	-1,099	1,178	4,595	557	209	5,361	4,183	355.1%	4,928	8.8%
アジア	1,621	-1,081	444	984	1,694	1,428	1,416	4,538	3,554	361.2%	4,256	6.6%
調整額	210	58	100	368	193	36	-48	181	-187	-50.8%	240	-24.6%
合計	18,412	5,757	5,850	30,019	19,268	8,431	6,601	34,300	4,281	14.3%	33,500	2.4%

## 個別売上高・営業利益通期予想

【単位：億円】

個別	売上高(通期)						営業利益(通期)					
	2023年3月期 実績	2024年3月期 修正計画	増減額	前年比 (%)	2024年3月期 前回計画	前回計画 差異額	2023年3月期 実績	2024年3月期 修正計画	増減額	前年比 (%)	2024年3月期 前回計画	前回計画 差異額
丸一鋼管	1,266.3	1,260.3	-6.0	-0.5%	1,257.9	2.5	201.7	185.1	-16.6	-8.2%	183.3	1.8
丸ステンレス	305.3	279.5	-25.7	-8.4%	290.8	-11.2	54.0	37.5	-16.5	-30.6%	37.5	0.0
その他国内子会社*1	88.5	150.9	62.4	70.6%	151.2	-0.2	18.2	19.5	1.3	7.3%	20.0	-0.4
LEAVIT(北米)	293.0	248.8	-44.2	-15.1%	246.6	2.2	8.1	14.7	6.6	81.3%	15.9	-1.1
MNT(北米)	50.4	46.0	-4.3	-8.7%	44.1	1.9	-7.9	1.1	9.0	黒字転換	1.3	-0.2
MAC(北米)	173.3	151.3	-22.0	-12.7%	145.9	5.4	9.9	22.0	12.0	121.9%	18.2	3.8
MOST(北米)	86.6	82.6	-3.9	-4.5%	83.5	-0.9	-5.4	5.1	10.5	黒字転換	5.5	-0.4
MMX(メキシコ)	39.7	49.2	9.5	24.0%	46.6	2.6	8.1	10.6	2.5	-3.7%	9.5	1.1
SUNSCO(ベトナム)*2	343.0	364.3	21.2	6.2%	361.4	3.0	-2.0	31.5	33.5	黒字転換	27.8	3.7
KUMA(インド)	109.6	119.0	9.4	8.6%	114.5	4.6	11.2	10.8	-0.4	-3.7%	10.8	0.0
その他海外子会社*3	9.4	16.5	7.0	74.4%	16.6	-0.1	0.2	3.0	2.8	1342.9%	2.8	0.2
連結調整	-31.3	-60.9	-29.6		-59.1	-1.8	3.9	1.8	-2.1	-54.5%	2.4	-0.6
合計	2734.1	2708.0	-26.1	-1.0%	2700.0	8.0	300.2	343.0	42.8	14.3%	335.0	8.0

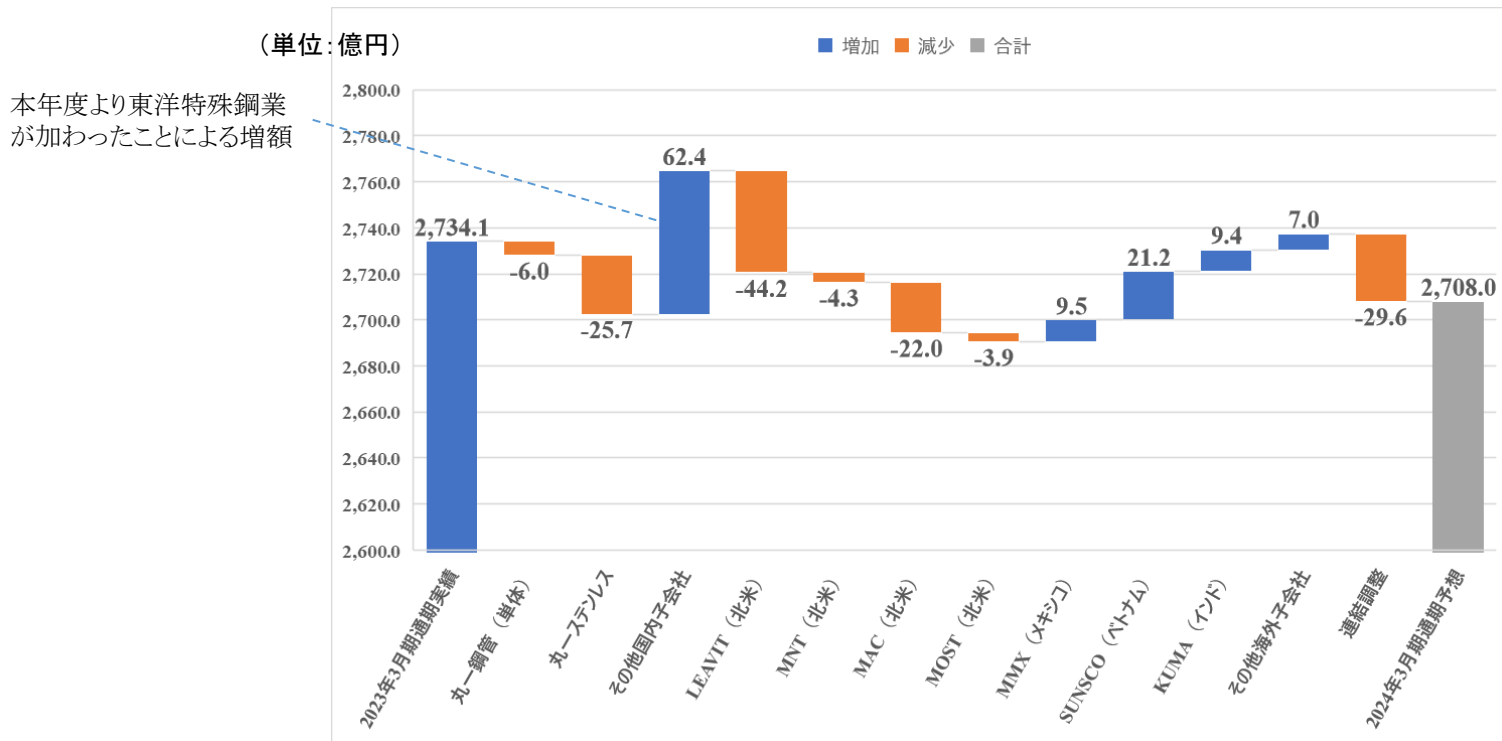
\*1 2024年3月期第1四半期より、その他国内子会社に「東洋特殊鋼業株式会社」を加えております。

\*2 SUNSCO(ベトナム)は、ホーチミンとハノイの合算となっております。

\*3 その他海外子会社は、MPST(フィリピン)およびMST-X(テキサス)の実績です。

## 連結売上高の増減要因(23年3月期通期実績→24年3月期通期修正予想)

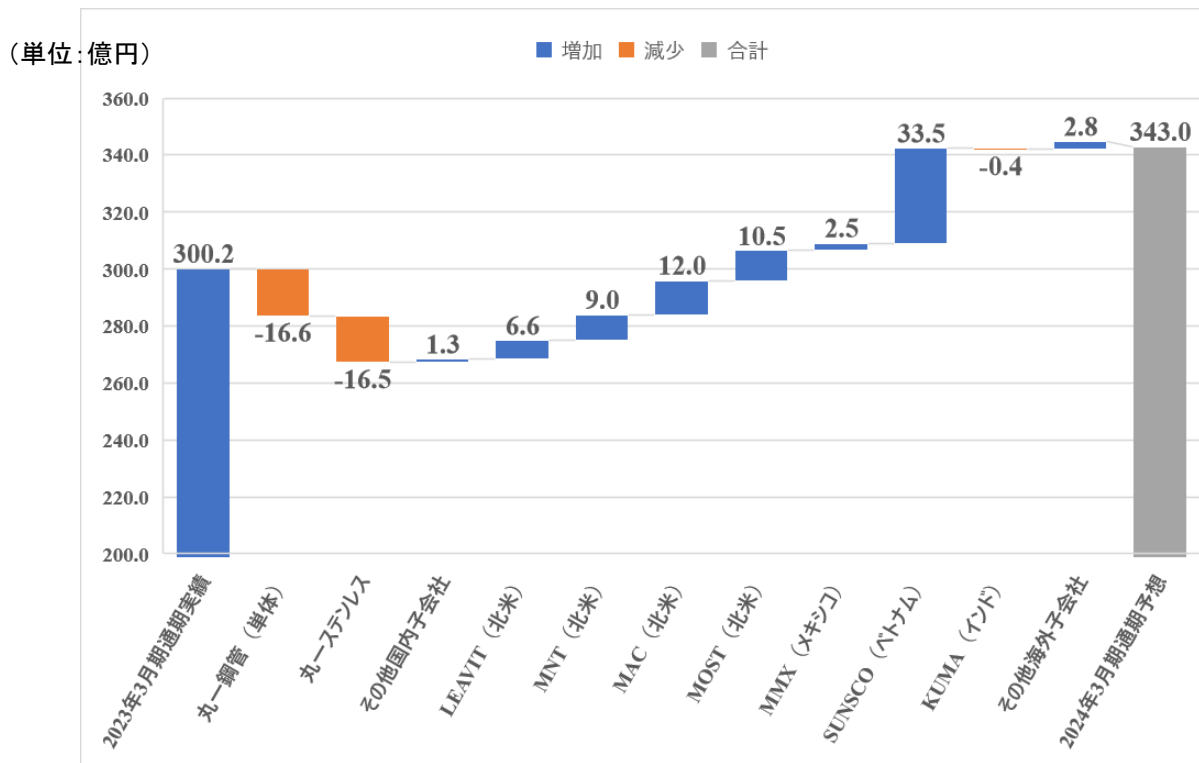
- 売上高は、丸一鋼管(単体)・丸ステンレス鋼管および北米各社が低下するが、アジア各社が貢献し、前年比1.0%減の予想





## 連結営業利益の増減要因(23年3月期通期実績→24年3月期通期修正予想)

- 営業利益は、国内が低下するが、海外が貢献し前年比14.3%増の予想



## 配当金予想の上方修正

- 前回予想の利益水準を上回る状況に伴い配当金予想を2円上方修正
- 期初予想からは14.5円上方修正
- 配当性向 40%

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
前回予想 (2023年11月8日)	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 67.50	円 銭 122.50
今回修正予想	—	—	—	69.50	124.50
当期実績	—	55.00	—	—	—
前期実績 (2023年3月期)	—	40.00	—	69.50	109.50

(参考)5カ年の配当金推移

- 2023年3月期までの「単体のみなし当期利益ベース」から

本年度より  
「連結決算における親会社株主に帰属する当期純利益ベース」での配当を実施



# 海外拠点長十丸一ステンレス鋼管報告会

## 2024年3月11日(月)15時～予定

### 注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。